『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー　その９

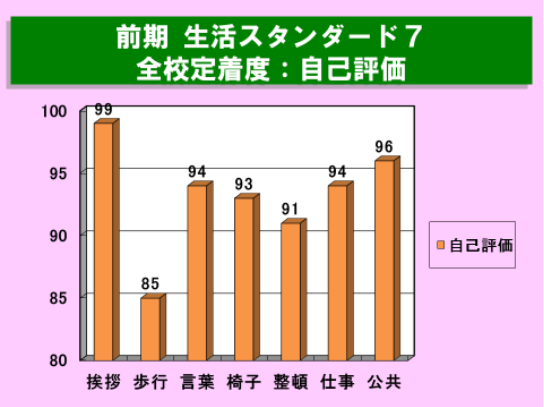
今月は、「発達の段階を踏まえた全学級における学習規律・生活規律の統一及び徹底」について紹介いたします。

本校では、児童の内面の充実を図りながら、「笑顔・習慣・学び合い」を実現するため、全校で統一した生活・学習のスタンダードの定着を目指し、取組を継続してきています。落ち着いた学級づくりを継続するため、日常においては、生活・学習のスタンダードの定着のために、生活スタンダード７・学習スタンダード７として指導の徹底に努めました。

確実な定着を目指し、年度始めに８０％以上の定着率を数値目標としました。毎週金曜日に振り返りをし、生活面では、「廊下の歩き方」「整頓」等の結果を踏まえ、未定着の内容については重点的に指導の継続に努めております。また、学習面では、「聞く」「発表」「話す」等の定着について、「教えること」と「考えさせること」を適切に指導過程に位置づけた授業づくりを通して、その定着に努めてきました。生活スタンダード７・学習スタンダード７の徹底を学年ごとに継続した結果、下図にあるようにどの項目においても目標値（８０％）を超えることができました。

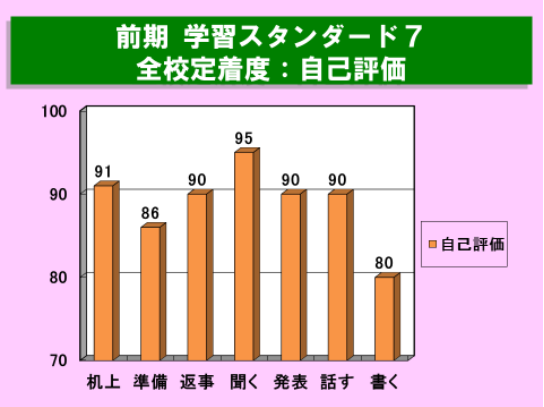
２８年度 生活スタンダード７
《社会性向上部より》

①あいさつは自分からします。
②廊下や階段は右側を歩きます。
③相手が嫌な気持ちにならないような言葉づかいをします。
④いすは机の中にしまいます。
⑤自分の持ち物はきちんとしまいます。
⑥自分の仕事は忘れずに行います。
⑦みんなで使う物を大事にします。

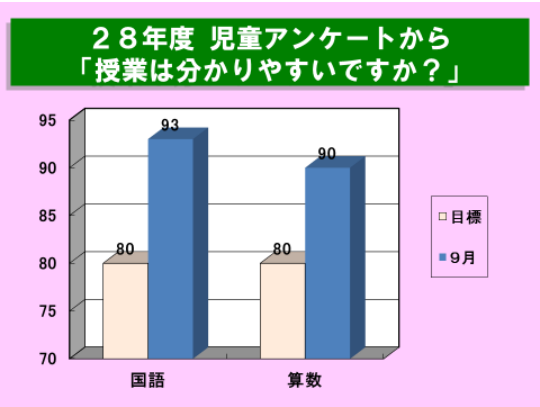


２８年度 学習スタンダード７
《学習力向上部より》

①決められた物だけ、机におきます。
②チャイムが鳴る前に勉強道具を出します。
③名前を呼ばれたら「はい」と返事をします。
④話し手のほうに体を向けて聞きます。
⑤発表や音読はみんなに聞こえる声でします。
⑥「です」・「ます」をつけて答えます。
⑦ノートはきれいな字で書きます。



さらに、本校では国語と算数において、日常の授業が子どもたちにとって「分かりやすい」ものになっているかを検証するために、児童アンケートを実施しています。

前期の児童による自己評価の結果で、目標値（８０％）を超えることができました。しかし、「授業が分りづらい」と答えている児童もおります。全ての児童が、学び合う喜びを味わうことができるよう、よりよい授業づくりに努めます。

今後も、落ち着いて学習・生活できる環境を整え、生き生きと学校生活を送ることができるよう努めます。